

花園大学文学部研究紀要

第48号

京下京「梅忠町家屋敷絵図」の3DCG復元に関する共同研究 明珍健二・伊ヶ崎鷹彦・梅本直康 溝尻純子・藤原美菜子・西川睦美 ……………長谷川真也・森田志津絵・浅原一郎 …… (1)	
工藤平助「報国以言」と一八世紀後期の長崎貿易政策 ……………鈴木康子 …… (45)	
『竹取物語』奈良絵本・絵巻の伝本 …… 曾根誠一 …… (73)	
<hr/>	
北欧のマンガ文化およびマンガ研究の概観—フィンランドを中心に— ……………秦美香子 …… (1)	
ソチオリンピックにおける新聞報道の分析 (2) —競技種目別に着目して— ……………山本清文・中村浩也・武内麻美 …… (27)	
競技経験者を対象としたPAC分析による男子新体操イメージの検討 ……………野田光太郎 …… (43)	
清末留日学生 —江蘇省を中心に— …… 洪濤 …… (63)	
禪學札記 …… 衣川賢次 …… (87)	
国民学校「初等科国語」五～八の墨塗り教科書の実情について ……………菅修一 …… (143)	
「ふりかえり」を重視したアクティブ・ラーニングの研究実践 —「ふりかえりのマトリクス」作成の試み— ……………中善則 …… (175)	
彙報…………… (87)	
編集後記	

2016

花園大学文学部

花園大学文学部研究紀要

第四八号

二〇一六年三月

ANNUAL JOURNAL
FACULTY OF LETTERS
HANAZONO UNIVERSITY

No. 48

March 2016

ARTICLES

Collaborative investigation about the 3DCG reconstruction of the Umetadacho, Shimogyo houses and lots of illustrated map in Kyoto City MYOCHIN Kenji, IKAZAKI Takahiko, UMEMOTO Naoyasu, MIZOSHIRI Junko, FUJIWARA Minako, NISHIKAWA Mutsumi, …………… HASEGAWA Shinya, MORITA Shizue, ASAHARA Ichiro (1)	
A Suggestion to Reforms of Nagasaki Trade by KUDO Heisuke in 1783 …………… SUZUKI Yasuko (45)	
A list of Nara-pictorials and picture scrolls of "Tale of TAKETORI" …………… SONE Seiichi (73)	
<hr/>	
An Overview of Comics Cultures and Comics Studies in Finland and Other Nordic Countries …………… HATA Mikako (1)	
An Analysis of Japanese Newspaper Articles on the Sochi 2014 Winter Olympics (2) — Focusing on sports competition — …………… YAMAMOTO Kiyofumi, NAKAMURA Hiroya, TAKEUCHI Asami (27)	
A Consideration for the Images of Men's Rhythmic Gymnastics by the Analysis of Personal Attitude Construct session with an Athlete/Artist …………… NODA Koutaro (43)	
Students Studying in Japan at the turn of 19 th Century — A case study of the Scholars from Japanese Province — …………… HONG Tao (63)	
Critical Essays on Ch'an Buddhism Texts …………… KINUGAWA Kenji (87)	
The painted-out textbook of "primary Kokugo" After the Pacific War's end …………… SUGA Syuichi (143)	
Study practice of the active learning that emphasized "Reflection" — Try of matrix making of "Reflection" …………… NAKA Yoshinori (175)	
<hr/>	
BULLETIN …… (87)	
POSTSCRIPT	

Published by

FACULTY OF LETTERS, HANAZONO UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

編集後記

『花園大学文学部研究紀要』第四八号をお届けします。

さて、大学を取り巻く環境は、二〇一五年においても、大きな変化を遂げました。既に二〇一四年七月二四日に、文部科学省は国立大学に通知を出して、以下の二つの方針を表明していました。(一)人文・社会科学、学際・特定分野は、定員規模・組織のあり方の見直しを積極的に推進し、強み・特色を基にした教育・研究の質的充実、競争力強化を図る。(二)教員養成系大学・学部については、組織編成の抜本的見直し・強化(小学校教員養成課程や教職大学院への重点化、教員免許取得を目的としない「新課程」の廃止等)を推進する。

そして、二〇一五年六月八日には、文部科学省は国立大学に通知を出して、「教員養成系学部・大学院、人文社会科学系学部・大学院については、組織の廃止や社会的要請の高い分野への転換に積極的に取り組むよう努める」ように指示しました。

この通知は、文部科学省が「文科系大学はもういらぬ」と表明したものと受け止められ、大学側を始め、日本学術会議が批判する声明文を出すなど大きな反発を引き起こしました。もともと、文部科学省側は反発に対して、「文科系大学は不要だと言っているのではない」「社会的要請というのも、実学重視ということを言っているのではない」と説明してはいます。

しかし、今回の通知の狙いが、法人化された国立大学の「改革」の遅れに対する文部科学省の対応であることは明らかです。我々としては、この「社会的要請」とは誰が「要請」するものなのか、また、その背後にはどのような「利害関係」が存在するかを見極めていかなければならないと思います。

こうした大学における「文系学部解体」に向けた動きが出てきたことは、日本の大学における研究・教育が、本来あるべき姿で生き残れるのか否かの分岐点まで来ていることを意味していると言っても過言ではないでしょう。文学部で研究・教育が展開されている「人

文学」の諸分野は、「役に立たない」学問の典型として大学のカリキュラム内容から削減されようとしているのです。しかし、大学は国家や経済界の「要請」に応えるためだけのものではありません。そもそも、国家や企業の諸活動に対して批判的に検討したり、解決が「社会的」に「要請」されている「問題」について、その背後にある「利害関係」を明らかにして「問題」の設定そのものを問い直したりすることこそが、大学の役割であるはずですが、大学がその役割を果たすためには、「人文学」の研究・教育こそが不可欠であることは言うまでもありません。その意味で、この『花園大学文学部研究紀要』の存在意義は、今日ますます重要になってきているといえます。

『花園大学文学部研究紀要』第四八号の編集作業につきましては、紀要委員である高橋克壽先生の御尽力を賜りました。ここに厚く御礼申し上げる次第であります。

(文学部長・松田隆行)

花園大学文学部研究紀要 第四八号

二〇一六年三月一〇日 発行

非売品

編集兼 発行 花園大学文学部

代表者 松田隆行

発行所 花園大学文学部

京都市中京区西ノ京壺ノ内町八一
電話(〇七五) 八二一一五二八二(代)